

薬剤耐性に関する認知度調査（家畜飼養者向け）

1. あなたは、平成 29 年度の薬剤耐性に関する認知度調査（WEBアンケート）に参加されましたか。

はい ⇒ 設問 2-1 へ

いいえ ⇒ 設問 2-1 へ

2-1 あなたの農場の飼養畜種、経営形態をお知らせください。（1つ選択）

肉用牛

繁殖、哺育・育成、肥育、一貫、その他

乳用牛

豚（一貫、繁殖、肥育、その他）

肉用鶏

採卵鶏（大雛業・育成業を含む）

種鶏

2-2 あなたの農場施設の飼養規模をお知らせください。（それぞれ1つずつ選択）

（常時飼養頭羽数：農場施設に収容可能な頭羽数）

（家伝法上による飼養規模区分による）

牛：200 頭未満、200 頭以上 3000 頭未満、3000 頭以上

豚：3000 頭未満、3000 頭以上

鶏：1 万羽未満、1 万羽以上 10 万羽未満、10 万羽以上

3. 平成 28 年に定められた日本の薬剤耐性（AMR<sup>※1</sup>）対策アクションプラン<sup>※2</sup>をご存知ですか。（1つ選択）

知っている ⇒ 設問 4 へ

知らない ⇒ 設問 4 へ

下記の URL をクリックすると、参照先が掲示されます。

※1 AMR: Antimicrobial Resistance

※2 [http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/yakuzai\\_honbun.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/yakuzai_honbun.pdf)

4. 薬剤耐性菌が人と家畜の細菌感染症治療を難しくすることをご存知ですか。（1つ選択）

知っている ⇒ 設問 5 へ

知らない ⇒ 設問 5 へ

5. 抗菌剤<sup>※3</sup>を使用すると、薬剤耐性菌が増えることをご存知ですか。  
(1つ選択)

知っている ⇒設問6へ

知らない ⇒設問6へ

※3 抗菌剤とは、細菌を死滅させたり、増殖を抑える作用を示す化学物質。抗生物質（カビなどの微生物が産生）と合成抗菌剤（化学的に合成）に分けられる。

6. 薬剤耐性菌が畜産物等を介して人へ伝播することが懸念されていることをご存知ですか。(1つ選択)

知っている ⇒設問7へ

知らない ⇒設問7へ

7. 抗菌性飼料添加物（飼料工場で配合される抗菌剤）が混ぜられている飼料と混ぜられていない飼料があることをご存知ですか。(1つ選択)

知っている ⇒設問8へ

知らない ⇒設問10へ

8. 使用している飼料にどのような抗菌性飼料添加物（飼料工場で配合される抗菌剤）が混ぜられているかをご存知ですか。(1つ選択)

知っている ⇒設問9へ

知らない ⇒設問9へ

9. なるべく抗菌性飼料添加物（飼料工場で配合される抗菌剤）が混ぜられていない飼料を使うことで、抗菌剤の使用量を少なくする取組を行ったことがありますか。(1つ選択)

ある ⇒設問10へ

ない ⇒設問10へ

10. 飼養環境の改善やワクチンの使用により、病気の発生を予防することが、抗菌剤の使用を減らすことをご存知ですか。(1つ選択)

知っている ⇒設問11へ

知らない ⇒アンケートは以上です。ありがとうございました。

11. 抗菌剤の使用を減らすために飼養環境の改善やワクチンの使用を行ったことがありますか。(1つ選択)

ある ⇒アンケートは以上です。ありがとうございました。

ない ⇒アンケートは以上です。ありがとうございました。